

グループ各社重点 プロジェクト発表

オリコンサル HD定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは2日、第39回定例会を開いた。写真。オンラインを併用した会議には約700人のグループ役員が参加し、各社の重点化プロジェクトの成果と今後の展開を発表した。

定例会は、2030年ビジョン・中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」



「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進するための場となる。

今回は、水管理・保全や防災、交通、海外といった分野

からプロジェクト6件の発表があった。出席した役員によるインターネット投票の結果、最優秀賞には「インドネシア国南スラウェシ離島電化・水産コールドチェーン事業パイロットプロジェクト」を発表した橋爪路乃氏（オリエンタルコンサルタンツグローバル）が選ばれた。

最後に野崎秀則社長が各プロジェクトを講評・総括し、「技術・サービスの売りや差別化要素をさらに磨き、今後の成長につながるように進めてほしい」と締めくくった。